

# 子ども読書支援ボランティアです 私たちの詳しい活動内容はこちら→



今回は、学童保育など、集団への読み聞かせをテーマにお送りします。

## 1 使えるブックリスト (ブックリストグループより)

春の子供たちはエネルギーがいっぱい！それをしっかり受け止められる本を選びましょう。学童保育でも楽しんでもらえるプログラムを作ってみました。

	書名	著者名	出版者	時間 (目安)
①	はるのたんぼ	菅原久夫文 高森登志夫絵	福音館書店	5分
②	おかえし	村山桂子作 織茂恭子絵	福音館書店	8分

何かをいただいたら「おかえし」をするのが日本の文化ですが、何事もやり過ぎると大変なことに…！？

	書名	著者名	出版者	時間 (目安)
①	くわすようぼう	稲田和子再話 赤羽末吉絵	福音館書店	8分
②	ワニぼうのこいのぼり	内田麟太郎文 高島純絵	文溪堂	3分

五月の節句の前後にぴったりのプログラム。みんなで怖がったり、笑ったりするうちに、豊かな季節感も育まれます。②は数遊びの「ウラパン・オコサ」(谷川晃一作 童心社 4分)でも盛り上がりますよ。

## 2 切り抜き羅針盤 (新聞・雑誌クリッピンググループより)

### ○「学童保育施設の隣に、駄菓子屋とカフェが開店」(埼玉 2017. 10. 31 朝刊 33面)

「4月に久喜市伊坂に開所した学童保育施設の隣に、駄菓子屋やカフェが開店した」という話題が掲載されていました。学童保育の子供と、駄菓子屋やカフェに集まる幅広い世代の地域住民との交流が期待されているとのことです。交流が進むにつれ、子供と地域住民が一緒に本を読んだり読んでもらったりという時間が生まれるかもしれませんね。

## 3 知って情報～おすすめウェブサイトの紹介～

(インターネットからの情報収集グループより)

### ○「はらっぱ」No. 27(2014)「はじめてのおはなし会～初心者のおはなし会講座」(大阪府立図書館)

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/harappa2014-11.html>

おはなし会初心者向けの情報が満載です。

(子ども読書支援ボランティア 甲斐・仁昌寺・大澤)

## 埼玉県立図書館ウェブサイト「子ども読書支援ページ」のお知らせ

「読み聞かせボランティアのための講師派遣」を始めとした県立図書館の子ども読書支援事業の案内や、『Shien』のバックナンバー、おすすめブックリストや子ども読書関連の新聞記事・リンク集など、子ども読書支援に役立つ情報がいっぱいです。

ぜひアクセスしてください！

[https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib\\_doc/ko\\_shien/index.html](https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/index.html)



### 編集後記

今回はいつもと違う紙面構成でしたが、いかがでしたか？(職員A)  
図書館や図書室には、おもしろくていい本がたくさんあります。どんなきっかけでもいいので、なんとかなんとか子供達の手に届きますように。  
(ボランティアO)

編集発行 埼玉県立久喜図書館

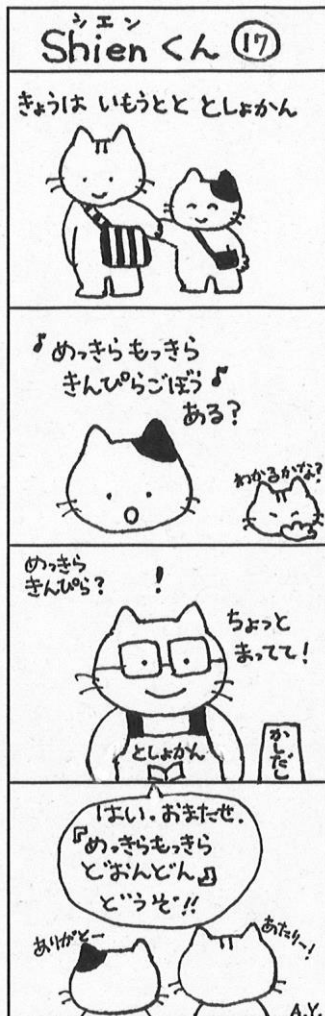
子ども読書支援センター

協力 子ども読書支援ボランティア

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5

TEL 0480(21)2659(代)

FAX 0480(21)2791



子ども読書支援情報誌

埼玉県立図書館ウェブサイト



# Shien 第25号

子供の読書に関わる方々の活動とネットワークを支援(Shien)する。そんな大きな願いをもったやさやかな情報誌です。

平成30年3月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター



# 特集 学童保育での読み聞かせ



(幸手市内の学童保育にて)

一口に学童保育といってもその実は様々なのですが、子供達に読み聞かせをしている学童保育があるって知っていましたか？

埼玉県立久喜図書館では、埼玉県内の子供読書に関わるボランティア団体が開催する研修会に、「おはなしボランティア指導者」を講師として派遣しております。その指導者の中から、学童保育で実際に活動されている3名の方にお話を伺いました。それぞれ所属されている団体として学童保育で活動されているとのことです。

現在学童保育に携わっている方も、興味を持っている方も、学童保育で読み聞かせをしていることを知らなかった方も、その世界を一緒に見てみましょう。

## ○たけのこ児童クラブ(幸手市)

小野寺るり子さん(おはなしの森)

### 1 学童保育の子供の人数と学年構成

65人(低学年28人、中学年23人、高学年14人)。

### 2 学童保育に図書は何冊くらいありますか？

350冊くらいです。

### 3 ボランティアを始めたきっかけ

「おはなしの森」の会員に学童保育で仕事をしている人がおり、その人を通じて依頼されました。

### 4 活動人数、ペースと時間

ボランティアは全部で11人。活動ペースは年2～3回で、学校が長期のお休みのときに行っています。1回の活動は、ボランティア3～4人で1時間くらいです。



## 5 読み聞かせ以外にやっていること

ストーリーテリング、わらべうた、エプロンシアター、紙芝居、手袋人形。



## 6 学童保育ならではのこと

### 😊 幅広い学年にどう対応するか

プログラムに、きちんとした筋があって遠目のきく絵本を選び、ストーリーテリングを2話入れるようにしています。また、エプロンシアター、手袋人形、大型絵本など視覚的に楽しめるものも入れています。

### 😄 面白さ

異なる学年ゆえの感動の輪が広がり、より楽しさを感じることができ、学年の違う子供と一緒に自由な気持ちでお話を聞くと、同学年の子供だけでは気づかなかった面白さ、楽しさに気づいて嬉しそうです。読み手も嬉しくなり感動を共有します。高学年の子供が照れくさそうにしている時もありますが、まとめ役をしてくれる重鎮です。大勢の兄弟姉妹にお話をしているような面白さもありますよ。

### 😞 難しさ

子供の心を解放し、応援できる絵本を読むことや、高学年の子供にも満足いくプログラムを組むことです。

## 7 学童保育での読み聞かせにおすすめの本

### 『めっきらもっきらどおんどん』

(長谷川摂子作 降矢なな絵 福音館書店)

### 『ちからたろう』

(いまえよしとも文 たしませいぞう絵 ポプラ社)

### 『北の魔女ロウヒ』

(トニ・デ・ゲレツ原文 パーバラ・クーニー絵 さくまゆみこ編訳 あすなろ書房)

## 8 学童保育での読み聞かせボランティアに関心のある方へひとこと

興味のある方はまず学童保育にお願いしてみましょう。そして、どのような形で活動すればいいのか、学童の先生と相談しましょう(自己主張は避けましょう)。願いが叶ったら、子供と友達になりましょう。子供の話をよく聞いて、心に寄り添うと楽しいですよ。

## ○ 菖蒲東学童クラブ (久喜市)

佐野間信子さん(菖蒲おはなしかご)

### 1 学童保育の子供の人数と学年構成

47人程度。1年生から6年生までいます。

### 2 学童保育に図書は何冊くらいありますか？

150冊くらいです。

市立図書館の団体貸出を毎月利用しています。

### 3 ボランティアを始めたきっかけ

学童保育に勤務している友人に、こちらから声をかけました。

### 4 活動人数、ペースと時間

ボランティアは全部で6人。活動ペースは各学童につき月1回。1回の活動はボランティア1~2人で30分です。

## 5 読み聞かせ以外にやっていること

ストーリーテリング、なぞなぞ、手遊び。

## 6 学童保育ならではのこと

### 😊 幅広い学年にどう対応するか

年齢の低い学年の子供たちにもついていける内容を意識して準備しています。

### 😄 面白さ

学童保育の場合は、子供たちにとって、学校での規律や人間関係から解放されて、ホッと休める場所でもあります。少し緊張が解けたところで聞くと、子供たちから物語の世界に対して様々な反応が返ってきます。子供たちの心にストレートに飛び込んでいるような感じがしますので、楽しいひとときです。

### 😞 難しさ

難しいというより大切なこととして、学童でのおはなし会を始めたり、継続させていったりするためには、子供たちだけではなく学童保育指導員の方とのコミュニケーションも大切です。

## 7 学童保育での読み聞かせにおすすめの本

### 『かあさんのいす』

(ベラ・B. ウィリアムズ作・絵  
佐野洋子訳 あかね書房)

### 『くんちゃんのはじめてのがっこう』

(ドロシー・マリノ作・絵 まさきりこ訳  
ペンギン社)

### 『おさとぼうしうり』

(エズフィール・スロポドキーナ作・絵  
まつおかきょうこ訳 福音館書店)

## 8 学童保育での読み聞かせボランティアに関心のある方へひとこと

定期的に何年もおじゃまさせていただいていると、子供たちも楽しみに待っていてくれます。学校や図書館では経験できない物語の感じ方、あり方に、新しい自分を見つけることができますよ。

## ○ 星の子放課後学童クラブ (比企郡小川町)

坪木悦子さん

(おはなしサークル・ピッコロ)

### 1 学童保育の子供の人数と学年構成

45人。1年生から6年生までいます。

### 2 学童保育に図書は何冊くらいありますか？

300冊くらいです。事典や図鑑も所蔵し、調べ学習にも利用できるようにしています。また、地元の公立図書館の団体貸出しを利用して、月2回、図書館職員に選書してもらった本やリクエスト本を移動図書館で持ってきていただいています。

### 3 ボランティアを始めたきっかけ

図書館のおはなし会を見た学童保育の方に頼まれました。初めは1か所のみでの活動だったのですが、だんだんと他の学童保育でも活動するようになりました。

### 4 活動人数、ペースと時間

ボランティアは全部で17人。活動回数は月1回で、夏休みなどに単発で行うこともあります。1回の活動は2~4人で30分です。



## 5 読み聞かせ以外にやっていること

ストーリーテリング、手遊び。

## 6 学童保育ならではのこと

### 😊 幅広い学年にどう対応するか

プログラムのメインにストーリーテリングを持ってきて、話の内容は低学年に合わせてます。楽器や紙芝居を加えることもあります。

### 😄 面白さ

おはなし会を遊びの一環として考え、内容も手遊び、楽器など工夫できることです。また、異なる年齢の集団なので、選書が難しいのですが、よく聴いてくれた時には子供と心が通ったような喜びを感じます。

### 😞 難しさ

途中、親御さんのお迎えが必ず数人はあり、集中できないことがあります。めげずにやる気力が必要です。

## 7 学童保育で読むのにおすすめの本

### 『どろんこハリー』

(ジーン・ジョン文 わたなべしげお訳  
マーガレット・ブロイ・グレアム絵 福音館書店)

### 『ふしぎなナイフ』

(中村牧江・林健造作 福田隆義絵 福音館書店)

### 『トラのじゅうたんになりたかったトラ』

(ジェラルド・ローズ作 ふしみみさを訳 岩波書店)

## 8 学童保育での読み聞かせボランティアに関心のある方へひとこと

おはなし会が、子供達にとって、学童保育の仲間や地域の大人たちとの楽しい交流の場なのだと感じています。

学童保育での読み聞かせについて、現在活動されている方のおはなしを通じて御紹介しましたが、いかがでしたか。学校とも図書館とも、ちょっと違う空間の様々なことを感じていただければ幸いです。

取材と文：東達也・近藤梨乃(埼玉県立久喜図書館)